

6. まとめ

(1) SWOT分析と分析からみえるキーワード

【強み】

- 日本最大級のカルスト台地「秋吉台」
- 日本屈指の大鍾乳洞「秋芳洞」
- 「Mine秋吉台ジオパーク」
- 別府弁天池等の清らかな湧水
- 厚保くり・秋芳梨・美東ごぼう等、独自の特産物
- 山々や田園風景などの自然環境
- 日本有数の化石のまち
- 県西部の中心位置(長門・萩方面と各地の中継点)
- 2か所の道の駅
- 2つのIC、1つのJCT等交通利便性の高さ
- 新山口駅、山口宇部空港とのアクセスの良さ
- 十字原総合開発用地による産業拡大の可能性
- 社会復帰促進センターと市内企業との連携
- 個性豊かなジオ学習やコミュニティスクール活動

⇒ さらに強く！

- 秋吉台、秋芳洞
- 資源の活用
- 活力ある産業、魅力的産業
- しごとの創出、力をつける
- ジオパーク

【機会】

＜社会環境＞

- 国、県への観光客数、外国人観光客数の増加
- 2020東京オリンピック・パラリンピックの開催
- ICT、IoTへの対応・進化
- 国の東京一極集中への是正対策
- 全国的な働き方改革の推進
- 若者世代の田園回帰
- 女性の社会進出

＜県内環境＞

- ゆめ回廊博覧会や山口県音楽野外フェスの開催
- 新山口駅の改修

＜市内環境＞

- 世界ジオパークへの挑戦
- 道の駅・美東SAの整備・改修
- 地域ブランドの振興
- 行政拠点や文化拠点の改築、整備
- 小郡萩道路の開通に伴う利便性の向上
- 定住施策効果の好調
- 地域おこし協力隊の各地の活躍

⇒ 活かす！

- 外国人観光客
- 交流・関係
- 若者・女性
- 体験・ツーリズム
- 魅力の発信

【弱み】

- 人口減少、少子高齢化の進行
- 出生数、出生率が低く、若年層の転出が多い
- 国定公園の利用(開発)制限
- 通過型の観光地
- 体験型観光や外国人観光客への対応が不十分
- 宿泊施設や飲食店や魅力ある土産品が少ない
- 地域ブランドのブランド力が不十分
- 市全体の商業力の衰退
- 教育環境における規模やクラブ活動環境が不十分
- 市民ニーズに応じた医療機関の充実が不十分
- 介護医療などの専門人材の不足
- 若者や女性が求める仕事や市内就労が少ない
- 都市圏等、効果的な情報発信ができていない
- 都市拠点・地域拠点の空洞化
- 公共交通、2次交通が不十分
- 行政拠点や文化拠点の老朽化

⇒ 克服！

- 持続可能性
- 若者・女性の活躍
- 結婚に必要な環境
- 秋吉台の活用
- 魅力的産業の創出
- 情報発信
- 都市拠点・地域拠点
- にぎわいのあるまちづくり
- 教育環境の充実

【脅威】

- 山口県全体の人口減少
- 東京一極集中化
- 小郡菟道路の開通に伴う通過点の可能性
- 市内で結婚する若者の減少
- 中小事業者の後継者不足
- 農林業の担い手の不足
- 遊休農地の増加
- 空き家、危険家屋の増加
- 限界集落の発生
- 大規模災害の発生
- 消費者、高齢者への安全対策の必要性の増加

⇒ 防ぐ！

- 地域共生社会
- 担い手・人材育成
- 住み続けられるまち
- ネットワーク
- 安全・安心

【市民等から見る課題】

- 市内公共交通の利便性が悪い
- 日常の買い物が不便
- 観光振興の市民満足度が低い
- 商工業の市民満足度が低い
- 農林業の市民満足度が低い
- その他産業関連の市民満足度が低い
- 保健・医療サービスの市民満足度が低い
- 各種行財政運営に関する市民満足度が低い
- ジオパーク活動や国際交流等の市民理解が低い
- 一部地域や若者が住みよいまちだと感じていない
- 若い世代での定住意向が低い

(2) 課題の整理

美祢市の持続可能性を高めること

加速度的な人口減少による産業・社会構造の変化、少子・高齢化の急速な進展が本市の持続可能性を弱めています。

特に、若者や女性の定住に結びついていないことが、出生者数の減少という危機的な状況に陥っています。若者世代の定住促進においては、近隣に就業地があること、市内に快適で利便性の高い生活サービス環境が整っていること、子育て・教育環境が充実していること、豊かなコミュニティや活躍できる場があることなど、結婚に必要な環境が求められていると考えられます。

これら、本市が不足するニーズを満たしていくために、第一に地域経済を活性化させ、利便性の高い生活基盤を形成していく必要があります。

また、子育て・教育環境の充実化を図るとともに、都市拠点・地域拠点を整備することで、若者や女性が活躍でき、安心して結婚できる環境を整えることが、本市の持続可能性を高めます。

更には、ジオパークをはじめ地質学的に貴重な背景を持つ美祢市において、豊かな自然資源の中で快適で充実した暮らしを営める、住んでみたい、訪れてみたいと思われるまちづくりを行う必要があります。

これら、本市の持続可能性を高める上で、若者や女性の定住対策と併せ、下記の取り組みが重要な課題と整理します。

① 観光を軸としたまちの発展を進めること

国立公園、mine 秋吉台ジオパークを核として、観光客目線に立った魅力ある体験型、着地型の観光プログラムやツーリズムを創出し、情報発信を強化することによって、県内における交流拠点として、国内外との交流機会を活かしたまちづくりを進めることが重要です。

秋吉台・秋芳洞の知名度を高め、世界に誇れるまちの魅力を創造することや市の魅力を発信すること、交通結節の利便性を高めること、交流による人の行き来を活発にすることが求められています。

秋吉台・秋芳洞やその他の資源、県央という立地を活かしつつ、中山間地という自然環境を魅力に転換するため、観光関係者や市民だけでなく、交流人口、関係人口を巻き込みながら、様々な施策、試行を実現できるまちづくりを進めて行く必要があります。

② 多角的な産業振興により地域力を高めること

秋吉台をはじめとする豊かな大地で生産される農産物は、厚保くり、秋芳梨、美東ごぼうをはじめ、自慢の一品を産み出しています。それらの付加価値を高める六次産品などの魅力化により効果的なプロモーションを図り、都市圏などの購買層に届く方策が必要となっています。また、この大地の力を活用した農林水産の振興を図り、新たな需要の掘り起しとともに担い手を産み育てていくことが求められています。観光客などに対しても、環境だけではなく、五感の全てで楽しむことができる機会を増やすとともに、食の提供やお土産として自慢できる逸品を開発することが必要です。

商業については、身近な地域で必要なものが購入でき、にぎわいを感じられるまちづくりを進めるとともに、様々な交流により、多様な商品が集まる仕組みをつくっていくことが必要です。

市内産業を活力ある産業、魅力ある産業に昇華するとともに、新たなしごとを創り出し、力をつけていきながら、地域経済発展のサイクルを生み出していくことが重要です。

③ 都市機能の集約と整備を進めること

本市の広大な市域に各種機能を点在させるのではなく、都市拠点及び地域拠点地域の整備を進め、本市に必要な機能の集約を図り、にぎわいの創出を図ることが必要です。同時に都市拠点と地域拠点を繋ぎ、安全・安心で快適な生活の質の向上に繋げるための基盤整備、交通・通信等のネットワークを形成することが求められます。

④ 協働によるまちづくりを進めること

本市の現状及び本市が目指す将来像を市民にわかりやすく提示し、市民の理解と協力のもとで、市民が主体的にまちづくりに参画し関わりを持つ、市民協働のまちづくりを強めていくことが必要です。

特に地域コミュニティの存続と地域振興を行うために、地域の担い手やリーダーの高齢化に対応した40～50歳代などの新たなリーダーを見出し、育成していく必要があります。

市民、企業など、本市に関係のある多様な団体・人同士が、それぞれの個性、特徴を尊重し、地域の力を引き出すまちづくりを進めることで、協働による地域共生社会を実現していくことが重要です。

⑤ 環境への調和・保全と活用を図ること

mine 秋吉台ジオパークである本市において、環境の保全が必要な地域、にぎわいのある地域、生産拠点、体験施設等の土地利用を効果的に行うことで、それぞれに役割を持った個性的で特徴ある地域づくりに繋げる必要があります。

秋吉台国定公園やラムサール条約に求められる環境保全とともに、それらと共に生き活用する地域づくりへの支援が必要です。また、全国・世界の自然公園としての役割を担うよう、環境への調和を図りつつ、それらを活かし活動する営みに誇りを持つ地域づくりが求められます。